

☆「APEX CLUB」No.20をお届けいたします。  
 今号は1号お休みをいただいたこともあって、原稿が盛り沢山。そのため、「会員図鑑」「触覚」は休載させていただきました。でも「むしくいず」はいつもの通りです。  
 数独は初めての出題ですが、初心者向けの超やさしい問題です。これが面倒という方は、頭脳の老化が始まっているかも知れません。悔しかったらご応募をどうぞ！  
 ☆いろいろあった戦後60年も、あと2カ月弱となりました。PCOも改革を求められる時代となっています。

# APEX CLUB '05/11

アペックス産業株式会社 第20号

『APEX CLUB』  
 発行 2005年11月1日(通算19号)  
 発行所 アペックス産業(株)「APEX CLUB」編集委員会  
 〒105-0014 東京都港区芝2-23-4  
 電話 03-3455-6474 FAX 03-3455-6558  
 ホームページ <http://www.apex-sangyo.co.jp>  
 発行人 元木 貢 (編集委員) 山口力広、高瀬大輔  
 佐々木 健  
 (事務局) 田口久美  
 制作協力 株式会社オービット

## ギャラリー

### たどりつく所

黒沢 裕子  
 (女流美術協会会員)



平成17年/秋 独立展にて

黒沢 裕子(くろさわ ひろこ)  
 1956年 東京生まれ  
 1979年 武蔵野美術大学  
 造形学部油絵学科卒業  
 東京都府中市、世田谷区などで  
 図工・美術専科教諭を5年間  
 絵画教室、美術講師などを続ける  
 1995年 櫻井浜江先生(独立美術協会会員)  
 に師事  
 2002年 独立美術協会会友  
 2004年 女流美術協会会員、現在に至る

☆高島屋「美の予感」展に出品  
 ☆安田火災美術大賞展に出品  
 ☆毎年、銀座竹川画廊で「ドレ展」を継続

## むし籠

### TBS番組 「オオカミ少年」撮影余話

九月二十二日放送のTBS系深夜番組「オオカミ少年」に、当社の濱谷研究開発室課長が出演した。  
 この番組は普通では信じられないような話題のVTRを回答者に見せ、その内容が本物か嘘かを当てるもの。今回のVTRは「ニヤーと鳴くネズミがいる?!」というもので、撮影の舞台の一部に当社が選ばれた。  
 当社での撮影は夜八時頃、研究開発室にて行われ、俳優の阿藤快さんが「ニヤーと鳴くネズミを見て驚く」という場面だった。  
 もちろん、そんなネズミがいるはずもなく、嘘のVTRなのだが、そのネズミを持つてくる役に濱谷課長が選ばれた。  
 ほんの30秒足らずの放送場面の撮影にもかかわらず、撮影所要時間は二時間を超えてしまった。何度か撮り直し、その都度「このネズミです」の

### フットサルその後

今回で二回目のフットサル報告になります。最初の報告以降、対外試合は行っておりません。今は練習あるのみ……なんです。  
 他のチームと合同練習をする機会があり、参加してもらいましたが、とにかく、我がチームは弱い！練習量や基礎体力などがなっていないので、いつも練習後は反省会ばかりです。(それも目的かも……)  
 我がチーム今一番の問題は、安く練習する場所がないことです。頻りに練習したいのですが、近くの練習場は料金が高く、とても頻繁にというわけにはいきません。みなさん！ 合同で練習を行っていただけるとチームを募集しておりますので、ぜひ、ご紹介ください。連絡をお待ちしております。今後の計画ですが、最低月一回の練習を実施する予定です。



撮影にもかかわらず、撮影所要時間は二時間を超えてしまった。何度か撮り直し、その都度「このネズミです」の練習を実施する予定です。

## 虫めがね

☆ちようど一年前の八月末に厚生労働省の科学研究の一環としてニューオリンズを訪れました。全米の害虫防除業界(PCO)のリーダー的存在で、全米PCO協会会長も歴任したフィッシャー・エンバイロメンタル サービス社のクンスト社長を訪問するためです。米環境省(EPA)は殺虫剤による危害を減少させ、有効に活用するために、殺虫剤ばかりではなく、様々な方法を組み合わせた総合防除(TPM)を推進しています。その一環として取り組み事例の全米コンテストを行っていますが、氏は毎年のようにチャンピオンを獲得してきました。  
 湿地帯にある飛行場に着陸、広大なポンチャートレイク湖を横断する、五十キロにも及ぶ高速道路を渡り、最先端の食品工場を見学。帰路には湖に近い氏の事務所を見学させていただきました。夜はジャズ発祥の店でジャズを聞き、バーボンストリートを散策しました。  
 ☆そのニューオリンズに、さる八月二十九日、ハリケーン「カトリーナ」が直撃、市の八〇%が浸水し、一千名余りが死亡してしまいました。あんなつかしい街並みが廃墟と化し、市内の食料品店などで略奪が続発、あちこちで火災も起きました。  
 ☆お世話になった氏とは未だに連絡が取れませんが、早期の復興を祈るばかりです。



☆お世話になった氏とは未だに連絡が取れませんが、早期の復興を祈るばかりです。

## おじやま虫



### オオナガシバンムシ

【プロフィール】 オオナガシバンムシ *Pyrobium cylindricum* は、日本特有種とされ、成虫は5〜7ミリ内外。赤褐色から暗褐色で、黄白色の微毛で覆われる。  
 【習性】 幼虫は建築物の柱などの材中を不規則に食害し、被害材内部は幼虫の糞、齧りとった木材が粉状になっている。ブナ、スギ、ヒノキをはじめとして、多くの建材を加害すると言われており、材の被害は床の陥没、踏み抜きによって発見されることが多い。  
 【習性】 六月〜八月あたりに成虫となり、材表面を穿孔し、脱出する。一九七五年頃から東京を中心に目撃例があり、

家屋内でしばしば採集されている。  
 【駆除】 被害報告としては、一九八四年、静岡県の体育館にて床材を加害したとの報告がある。  
 二〇〇四年、当社に葛飾区内のマンションから「虫が発生して床がへこみ、建設業者とトラブルになった」と、原因調査の依頼があった。洗濯機の排水漏れにより、長期間、床下の温度が高かったことにより、オオナガシバンムシが異常繁殖したものであった。すでに一階三世帯の床下部分はすべて部材を交換し、殺虫剤を木部内部、表面に処理してあったので、今後は被害が拡大することはないと思われた。